

生活習慣病対策「健康講座」閉講式

2月12日(日)中央公民館ホールにおいて、NPO法人沖永良部島食育サポートあぐヘルシー主催による生活習慣病対策「健康講座」(全7回)が開催されました。

最終回となった今回の講座では、「食べ物の力を味方につけて」と題し、(株)玄米酵素の食アドバイザー認定講師である増野昭美氏による講演がありました。そのなかで増野氏は「食事により病気やアレルギーが改善される方法を知り自ら勉強・実践し、家族全員が健康という宝物を手に入れることができた。良い食事をする事で、良い体ができ良い心ができる。」と話され、受講生は食事の大切さを改めて実感しているようでした。

講演に引き続き行われた閉講式では、26名の受講生が食育アドバイザー(全7回中5回以上の受講者)として認定されました。今後、食育アドバイザーは、各家庭の食医として家族の健康管理や地域において食に関するアドバイスを行うことで、知名町の健康づくりに寄与することが期待されます。

また閉講式では、受講生を代表して山下カヤ子さんが健康講座をふりかえり「この講座をきっかけに食に関する知識が深まったことで食事内容を変えた。立派な食医になれるようにがんばりたい。」と感想を述べました。



増野氏の講演



食育アドバイザー認定証の授与

住吉地区浄化センターが完成

農業集落排水事業により完成した住吉地区浄化センターにおいて、2月5日に「住吉地区通水式」が開催されました。

農業集落排水事業は、農村集落におけるし尿、生活雑排水の汚水を処理する施設を整備し、農業用排水の水質保全、施設の機能を維持します。また、農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全寄与することを目的としており、この事業の役割はますます重要なものとなってきています。

住吉地区は、平成18年度に事業を着手しており、総事業費は約11億9,900万円で、正名・住吉・徳時・大津勘の970人を対象としています。

また、この施設では「土壌被覆型接触ばっ気方式(土壌浄化法)」を採用しており周辺環境にも配慮した処理施設となっています。



土壌被覆型接触ばっ気方式の特長

- 沈殿分離槽と接触ばっ気槽の組み合わせのため、流入水量の変動に対処しやすい。
- 処理槽を土壌被覆することにより、悪臭の発生、病原菌の拡散、泡の飛散防止を行っている。
- 土壌に吸着した、臭気成分は土壌生物により分解されるため、目詰まり等は起こさない。
(よって、活性炭のような脱臭剤の入替えが不要。)
- 処理槽上部を緑地空間として利用できる。
- 機器が他の方式に比べて少ないため、維持管理費が安価となる。

※下水道への早期接続をお願いします。

【お問合せ先】 水道環境課 内線189



町指定文化財「九本柱の高倉」補修完了

住吉壮年団が字民に呼びかけ、昨年12月から土・日曜を中心に補修作業を行いました。茅の確保が難しかったことや雨天に悩まされ思うように作業が進みませんでした。2月26日に作業が完了しました。

多くの皆さんにボランティアとして協力していただきました。